

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は保有していない。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による。

(3) 引当金の計上基準

該当事項なし

(4) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,100,000	0	0	1,100,000
合 計	1,100,000	0	0	1,100,000

4 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	1,100,000	1,100,000	0	—
合 計	1,100,000	1,100,000	0	—

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	26,111,000	18,411,583	7,699,417
構 築 物	1,200,000	781,200	418,800
合 計	27,311,000	19,192,783	8,118,217